

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月18日(2019.4.18)

【公開番号】特開2017-164118(P2017-164118A)

【公開日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2016-50617(P2016-50617)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月7日(2019.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な遊技領域を形成する遊技板と、
前記遊技板の後側に取付けられている裏ユニットと、
演出を制御可能な演出制御手段と、
所定の制御条件の成立に基づいて遊技者に有利な特別遊技状態に制御する遊技機において、

前記裏ユニットは、第 1 裏ユニットと、移動可能な可動部材と前記可動部材を移動させる駆動源を組付けている第 2 裏ユニットとを備え、

前記第 1 裏ユニットは、前記遊技板の後側に取付けられている一方、前記第 2 裏ユニットは、前記第 1 裏ユニットに取付けられ前記遊技板に直接取付けられていないものであり

、
前記演出制御手段は、所定の演出条件の成立に基づいて、前記駆動源の駆動によって前記可動部材を移動させる可動体演出を実行可能であり、

前記第 2 裏ユニットは、前記可動部材と前記駆動源を組付けている状態で、前記第 1 裏ユニットに対して脱着可能なものであることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来より、遊技機の一例であるパチンコ遊技機には、遊技機枠の内部に遊技盤ユニットが収容されるようになっている。遊技盤ユニットは、特開 2 0 1 4 - 0 7 6 1 7 9 号公報に記載のように、板状部材である遊技盤の後側に、裏ユニット（裏側演出ユニット）が取付けられたものである。遊技盤ユニットは、裏ユニットと蓋の役割を果たす遊技盤とによって、略ケース状になる。そのため裏ユニットには、遊技盤以外の様々な部材が組付け又は収容される。具体的には、演出表示装置、装飾部材、可動部材、駆動源、ハーネス、各種の制御基板等が組付け又は収容されることになる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献 1】特開 2014 - 076179 号公報

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

ところで、特開 2014 - 076179 号公報に記載の裏ユニットは、様々な部材を収容又は組付ける機能を果たすものとして、それ以上に小さいユニットに分割されない構造である。すなわち裏ユニットとしては、1つしかないものになっている。そのため、仮に裏ユニットに設けられている部材に不具合又は故障が生じた場合に、裏ユニット全体を交換することになると、コストが嵩んでしまう。また、裏ユニットから不具合又は故障が生じた部材を取外そうとした場合、裏ユニットが分割できない構造であるため、その部材を取外し難い。つまり、裏ユニットに設けられている部材の修理又は交換をし難い構造になっている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は上記事情に鑑みてなされたものである。すなわちその課題とするところは、裏ユニットに設けられている部材に異常が生じた場合の対応を簡易にすることが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、上記の課題を解決するために次のような手段をとる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る遊技機は、
遊技球が流下可能な遊技領域を形成する遊技板と、

前記遊技板の後側に取付けられている裏ユニットと、
演出を制御可能な演出制御手段と、
所定の制御条件の成立に基づいて遊技者に有利な特別遊技状態に制御する遊技機におい
て、

前記裏ユニットは、第１裏ユニットと、移動可能な可動部材と前記可動部材を移動させ
る駆動源を組付けている第２裏ユニットとを備え、

前記第１裏ユニットは、前記遊技板の後側に取付けられている一方、前記第２裏ユニッ
トは、前記第１裏ユニットに取付けられ前記遊技板に直接取付けられていないものであり
、

前記演出制御手段は、所定の演出条件の成立に基づいて、前記駆動源の駆動によって前
記可動部材を移動させる可動体演出を実行可能であり、

前記第２裏ユニットは、前記可動部材と前記駆動源を組付けている状態で、前記第１裏
ユニットに対して脱着可能なものであることを特徴とする遊技機である。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

この構成の遊技機によれば、第２裏ユニットは、可動部材と駆動源とを備えるため、時
間経過に伴って故障又は不具合が比較的に生じ易いものである。また第２裏ユニットは、
第１裏ユニットのように遊技板の後側に取付けられていないため、第１裏ユニットよりも
交換し易いものである。よって第２裏ユニットに異常が生じた場合に、裏ユニット全体を
交換することなく簡易に対応することが可能である。

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

本発明の遊技機によれば、裏ユニットに設けられている部材に異常が生じた場合の対応
を簡易にすることが可能である。